

令和4年度 第4回東郷町地域ケア推進会議：議事録

日 時	令和4年12月23日（金）14時00分～15時30分
場 所	東郷町役場2階 大会議室
出席者	<p>委員（敬称略、順不同）</p> <p>松浦 誠司 医師（東名古屋東郷町医師会）</p> <p>岡松 猛 歯科医師（愛豊歯科医師会東郷支部）</p> <p>佐藤 裕美 薬剤師（東郷町薬剤師会）</p> <p>柳 ゆかり 理学療法士（東郷町リハビリテーション連絡協議会）</p> <p>近藤 秀己 東郷町社会福祉協議会</p> <p>逸見 紀子 東郷町北部地域包括支援センター</p> <p>荒川 和枝 東郷町南部地域包括支援センター東郷苑</p> <p>制野 司 有識者（学校法人柳城学院）</p> <p>池田 寛 有識者（豊明東郷医療介護サポートセンターかけはし）</p> <p>半田 清春 東郷町民生委員児童委員協議会</p> <p>野々山 次夫 東郷町民生委員児童委員協議会</p> <p>松枝 博之 施設サービス関係（愛厚ホーム東郷苑）</p> <p>神脇 和美 住民代表（第1号被保険者）</p> <p>海老原 由美 住民代表（第2号被保険者）</p> <p>森本 美香 こども健康部 健康推進課</p>
欠席者	<p>福島 美佐子 訪問看護師（東郷町訪問看護ステーション連絡協議会）</p> <p>村井 良則 有識者（東名古屋医師会医療介護総合研究センターやまびこ）</p> <p>朝倉 隆行 居宅サービス関係（メドック東郷）</p> <p>松山 陽二 居宅介護支援事業所（もみの木）</p> <p>原口 浩美 瀬戸保健所 健康支援課</p>
傍聴者	なし
事務局	<p>福祉部長</p> <p>高齢者支援課長（進行）</p> <p>高齢者支援課職員 4名</p> <p>策定支援委託業者</p>
議 題	<p>1 あいさつ</p> <p>2 議題</p> <p>(1) 第9期東郷町高齢者福祉計画策定に係るアンケート調査票について 【資料1-1～1-4】</p> <p>(2) 第9期東郷町高齢者福祉計画策定に向けた団体調査結果報告について 【資料2】</p>

配布資料	会議次第
	資料 1-1 東郷町介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（第9期東郷町高齢者福祉計画アンケート調査票）
	資料 1-2 東郷町在宅介護実態調査（第9期東郷町高齢者福祉計画アンケート調査票）
	資料 1-3 東郷町介護サービス事業者調査（第9期東郷町高齢者福祉計画アンケート調査票）
	資料 1-4 東郷町ケアマネジャー調査（第9期東郷町高齢者福祉計画アンケート調査票）
資料 2 第9期東郷町高齢者福祉計画策定に向けた団体調査結果報告	

1 あいさつ

2 議題

(1) 第9期東郷町高齢者福祉計画策定に係るアンケート調査票について

事務局	(資料説明) 資料 1-1 資料 1-2 資料 1-3 資料 1-4
委員長	事務局に先に質問だが、今回はどの程度意見の反映が可能か。内容修正が可能なのか、軸の整理や修正が可能なのか、どの程度まで受け入れることにするか。
事務局	修正の程度は、最終確認という形で完成日もお知らせしているため、基本的に大きな変更は難しい。細かいところでご指示いただければ修正ができる。
委員長	概ね意見を踏まえてこれが出来上がっているということと、字句の整理程度についてはお受けするという事によろしいか。それではただいまの事務局の説明に対して何か意見があればお願いしたい。
委員	<p>字句の修正程度をお願いをしたい。</p> <p>第1に個人情報の扱いについて疑問がある。資料1-2は、あて名を書くため個人の特定ができ、文言が必要かと思うが、資料1-1は個人に対する項目がないので、わざわざ書いてある個人情報については必要ないと感じた。アンケートを開示することは書くとしても、個人情報としては出さないのではないか。</p> <p>(資料1-1の) 5ページ3について。「食べることについてお伺いします。」とあるが、下の方(問21から24)は食べることに関する問だが、上の方(問18・19)は食べることに関する問ではないので、変えてはどうか。</p> <p>8ページ問32から問34の並びについて。問32が「地域住民の有志によって」と聞き、一つ飛んで問34でほぼ同じ内容を聞いている。わざわざ離すことに意味があるのか。そうでなければ問32と問34を続け、問33、問35を続けた方が良い。</p>
委員長	事務局いかがか。

事務局	<p>個人情報の保護及び活用目的について。おっしゃる通りニーズ調査については無記名となるので個人情報には当たらないというものにはなると思う。こちらの活用目的について調査目的以外には使用しないということで加えさせていただいていた。削除する方向で検討する。</p> <p>5ページ3の「食べることについて」の題名について。国で示されているものになるため、修正は行わないこととする。</p>
事務局	<p>8ページ、問32から問34の並びについて。「地域住民の有志によって」というところでは同じ質問なのだが、問32と問34については、「参加者として」、「運営として」、と聞いているので、検討するがご意見として賜るということでお願いしたい。</p>
委員長	<p>その他はいかがか。よろしいか。毎年計画の時期に合わせて調査を行っているが、こうした意見は大事だと思う。国の方も少しずつそれに伴い変えていくことになるかと思う。今回はなかなか事項に対しては難しいということなので、受け入れていくことについては受け入れていくことにしたい。</p> <p>本日皆様からいただいたご意見や質問を事務局で取りまとめ、アンケート完成をした1月24日を目途に対象者に送付をしていただくようお願いする。</p> <p>皆様には次回3月の会議で結果報告をさせていただく。次の議題に移る。</p>

(2) 第9期東郷町高齢者福祉計画策定に向けた団体調査結果報告について

事務局	<p>資料説明 資料2</p> <p>団体調査の概要について</p> <p>1 活動内容について</p>
委員長	<p>1 活動内容について、各団体の活動の成果、課題を前に、今後も各団体の活動が継続できるよう、町として支援をしていくことを、専門の立場から皆様からご意見を求める。よろしいか。この後に進んでいく。</p>
事務局	<p>資料説明 資料2</p> <p>2 高齢者福祉介護について</p> <p>3 東郷町の高齢者福祉について</p>
委員長	<p>福祉施策が東郷町は遅れているという意見もあり、大変厳しいご意見をいただいている。皆様もこういったことについて、理解がない中で進めてきたわけではないと思う。財源やマンパワー、地域統合力も含め、充足することもあればはみ出すものもある。理想は高いほうがいいが、現実的な支援も必要ということだ。そうだそうだと盛り上がるより、冷静になり、皆様から意見を確認し、これを踏まえて9期の施策の位置づけを作っていければと思う。</p> <p>これは、例えば「積極的に取り組みたい」という意見は、その団体の方が積極的に取り組みたいということか。個人のものも含まれているように思う。団体のもとは異なる言葉もある。できるだけ棲み分けをして意見をお聞きしたい。ここで皆様から意見や質問を伺いながら、意見交換のつもりで受け止めたい。</p>

	<p>5ページからはいきなり「洗脳からの目覚め」というものもあり、これは何を提示しているのか不明だが、皆さんも見ながら参加されていることと思うので、積極的にご意見を承りたい。意見のある方は挙手をお願いします。</p>
委員	<p>国からやるように言われている事業くらいはやったほうがいいと思う。マンパワーもあると思うが、特に重層的支援体制整備事業や、高齢者消費者被害のネットワーク会議など、東郷町は少ない。やれと言われていたところはなんとかやっていたきたい。今日は社協の人もいるが、社協の立ち上げたモデルショップ、消費者対策支援事業の周知宣伝を、障がいの方だけで高齢者は対象外だと思っていることもあるので、ぜひやってほしい。</p>
委員長	<p>何か事務局の方から回答をいただけることはあるか。</p>
事務局	<p>消費者被害を守る支援の育成について。先日愛知県の方が東郷町に来られ、地域協働課と高齢者支援課と福祉課で話を聞いた。東郷町でも設置をする方向で話を進めている。少し出遅れていると思うが、東郷町でも設置される予定となっている。</p>
委員長	<p>委員の言われたように最低限のことをしっかり9期の中に検討し採用していただきたい。</p>
委員	<p>ご意見に感謝する。生活福祉支援だけに関わらず、社協自体も意外と認知度が低い。社協自体もPRを進め、社協の事業の中でも強くこだわりたい事業があると思う。そのあたりのマッチングを進めていく必要がある。</p>
委員長	<p>私の方からも5ページの下から5行目について。配食弁当に不満がある方がいるという率直な意見がある。このあたりの分析はされているか。これだと抽象的だが、何が不満か分かっているか。</p>
事務局	<p>配食弁当について。食の自立支援事業にあたるが、不満があるという声はそこまでいただけていない。中にはこの弁当が口に合わないなど、個人の趣味嗜好があるのかなと思う。中には事業者を変える人もある。個人のご意見として捉えている。</p>
委員	<p>配食弁当について。地域包括支援センターでは食のアセスメントということでお弁当を取りたいという方には紹介して、3か月、1年と訪問をしてアセスメントを取る。その中では味がいいとか悪いとか、アセスメント以外のこともお聞きしてくる。特にクレームはない。</p>
委員長	<p>味の問題など個人に関わることなら良い。安全面や体制のことなら考えなければならなかったが、そうではないので安心した。 どうぞご意見をお願いします。質問でも結構だ。</p>
委員	<p>1の活動内容のところに戻ってしまうが、2ページの選択肢について。新しいメンバーが入らない、メンバーの高齢化、リーダーの後継者が育たないなど選択肢がある。選択肢を立てた意図として、おそらくこういう課題を持っているだろうということだと思っていると思うが、結果として声があがってきたものに対して、どのような支援をしていくのか、想定して立てているのだろうか。すべてに当て</p>

	<p>はまるわけではないが、住民活動の原動力はその方たちの楽しみや地域で困っていることを解決したいなど具体的にニーズがあり、それが解決するとしぼんでいくのは自然なことだ。ずっとそれを維持していかなければならないと考えると、非常にしんどいことになる。支援する対応としては新たなニーズが発生した時、逆に集団になって盛り上がっていくのを応援する形が健全な状況だ。あるものを何とか支えなければという意図で設問を書いているのかどうか、疑問を感じた。文章の中でも、「世代間が違うとうまくいかない」というコメントもあったが、後継者が育たないということは、その課題に10歳違う人が入ってくるのか、という印象を持ったが、いかがか。</p>
委員長	<p>今の意見に対して、どうか。</p>
事務局	<p>選択肢についてご意見に感謝する。私もよく地域に出て、こういう話を時々耳にすることが多い。アンケートを取るうえでこういう声が多いかと思って取ったのが正直なところだ。サロンを始めるきっかけなどをお伺いすると、特別なことではなく、福祉の話ができる場を作りたいなど目的があって、そうした方たちが活動をされているなど、池田委員の意見を聞いてそういえばそうだと思った。目標を達成すると終わってしまうのは健全という話を聞き、なるほどと思った。せっかく通ってくださる方がいて、活動を実際に見ていると、運営の方は、まわりのお手伝いの方はいるが取りまわす方は固定されていて、その方がいなくなったらこの場はどうなるのか。目的が達成されてなくなってもいいのかというのではなく、継続してあった方がいいと思う。行政としての取組というのは難しいが、目標は達成されたけれど、達成されてもなくなってしまうといけないと思うと、継続するために、今日来てくださっている皆様のそれぞれの立場から見た視点で、こういうことをやれると続くのではないかという意見を聞けるといいと思い調査票をあげさせていただいた。問われると、なかなかどうしたらいいのかわかしく、後継者が育たないと、無理やり誰かにやらせるのは違うし、でも打ち切るのも違う。なくなっていいものではないと思うので、長く続けるのにどのようにすればいいのかわかしくお伺いしたいところだ。</p>
委員長	<p>なかなか答えがここで出てくるものでもない。</p>
委員	<p>スタッフの方が高齢化して、後がないから必死で頑張っていると言われるが、いろんなサロンでスタッフが勉強会を開いたり、スタッフが年を取ってくると今度は自分が利用する側になるので、自分が利用する時にこうだったら楽しい、という視点をもっているといいと思う。</p>
委員	<p>今おっしゃったことがそのものだと思う。自分にとって楽しい、自分が困るといけないから、やれることをやっておきたいなど、住民の方の思いが続いている限りは活動が続くと思うが、どこかで義務的なことが、ここでこういう機能があってほしいというのが、住民にとって便利というのがなければ、そのために生活しているわけではない。動機づけがとても大事だと感じる。すべての地域でそういうものがあればそれに越したことはないが、住民の方が望んで初めて活動への</p>

	意欲がでてくると思うので、そういったところがこの課題の難しさだと思う。
委員	先ほどの住民活動を支援していくにはという視点でお話があったが、そもそも住民活動を応援するのはどこなのかを考えた時、住民自体がいろんなところから応援してもらえるとっておられないと感じたことがある。自分たちができなくなれば終わっていく、それをどこに相談するとか、やる人がいなくなったらどうしよう、参加者がいなくなってどうしようといった相談を受ける場所の周知を、こちらでもできるということを示すと良いと思っている。例えば高齢者サロンであれば包括も行っているので、参加者や地域のキーマンになる人がいないかどうかの話をしていけると思う。地域包括支援センターとして住民活動の応援ができるという視点をもって地域に出ていきたいと思った。
委員長	是非参考にさせていただきたい。他はいかがか。
委員	この資料は団体の調査結果だ。団体に入らないところも多い。会議に出てくる人はよいが、団体に出てこない人、孤立する人、団体に入らない人も多い。その辺の視点をもって考えていただきたい。
委員長	<p>私も少し気になっている。いくつのページで、「特定の個人にしか情報がいかない」というコメントが出ていた。委員がおっしゃったようにつながると思う。提供するまでは責任がある。受け取るかどうかは個人の問題で、それを引っ張ってくるのは難しいが、平等に提供するまでは何らかの仕組みがあった方がいいと感じている。どの地域でも同じで、イベントに出てこない人は何があっても出てこないし、情報を受け取らない方はなかなか受け取らない。本人が受け取ることができないところでは家族が協力的かということ、家族が非協力的だったりもする。なかなか格差があり難しいが、このように言っていたようにもう少し展開が期待できればと思う。</p> <p>他はいかがか。意見と質問で結構だ。今ここで解決できることではない。面白い意見があり東郷町にも麻雀が好きな方がいるのだな、とか、参加する人は出席率が高いことや、男性がキーマンになっていて男性をどう集めるのかが大きな問題のように思ったりする。いろいろなポイントから意見が出ればよいので、積極的に意見をいただければありがたい。よろしいか。無理に手を挙げていただくのも恐縮なので、今後意見があれば事務局の方に連絡いただくことでお願いしたい。今後は第9期に向けて加速して進んでいくので、少しでも何かヒントになればと意見の受け入れをしたい。</p> <p>最後の14ページ、スマホ教室について。これは何か東郷町で、これに類する企画やイベントをやっているのか。</p>

事務局	<p>スマホ教室について、今やっているものは、老人クラブを対象としてスマホ教室を実施している。団体の会員で申し込みをお願いしている。それ以外で生涯学習課より、全町民を対象にして生涯学習講座を年数回行っている。これについては高齢者支援課だから生涯学習課だからというのではなく、全町的にDX推進のために動いていることになり、その中の一つの事業として高齢者支援課でも老人クラブを対象としてスマホ教室を開催している。おそらくこれを書いていたのは老人クラブの方で実際に申し込みをされた方だろう。継続してほしいというお声として認識している。</p>
委員長	<p>今考えなければいけないスマホ等危機に関する教室や高齢者のかかわりについては、おそらく10年後は全く違うだろう。10年後はそれに慣れていく方が60代、70代となってきたら、課題は随分変わっていくと思う。今それを使えることであるような仕組みができると思う。ここから10年先を考えるだけでなく、ここ1年、2年で何ができるかということが大切だ。すべきことが進んでいるということで安心した。引き続きよろしくお願ひしたい。他にも何かあればよろしくお願ひする。</p> <p>全体を通してあればお伺ひするがよろしいか。議題は終了とする。事務局にお返しする。</p>
事務局	<p>委員の皆様、貴重なご意見をありがとうございました。アンケートについては1月の発送に向け準備する。団体の調査による意見については今後計画の策定の中で皆様にお示しし、いろいろなご意見をいただきたいと思うのでよろしくお願ひする。</p> <p>続いて事務連絡。次回の地域ケア推進会議は令和5年3月17日金曜日、午後2時からこの役場2階大会議室で開催を予定している。アンケートの集計結果をお示しできるようにさせていただく。これをもって令和4年度第4回東郷町地域ケア推進会議を終了する。一年間皆様にはお世話になった。コロナの新規陽性者の数も減らない中、またインフルエンザの流行も心配されている。体調に留意して良い年をお迎えいただきたい。これで会議を終了する。</p>

以上